





## 邦人植民地昔物語

キマタ 生 (三)

ス青年俱樂部が組織されるや同

事務は青年俱樂部の手に移り、やがて汎ラジス青年會の成立と

同時に之に移管し、現在同青年

會の重要事務の一として在住邦

人の為め多大の便宜を貢献し

つある。

◇當市郵便局設

なる本業の傍らに一般の便宜を

計つたのである、その時分の邦

人宛郵便物は五寸角位の小箱の

底につくいてゐる程度の僅な

一九一六年公國境内に建立され

宗教と教會…

トライク及

るして家に祀り、經文の心得あ

る人に讀經をたのむ等佛式によ

ある、カトリック派の教會は

信ずるものゝ如様にして、

一九二六年別に現在の

ホリネスの新舊兩派の教會が二

つある、カトリック派の教會は

信ずるものゝ如様にして、

一九二六年別に現在の

ホリネスの新舊兩派の教會が二

「ホルへは貴方にそつくりです  
氣質までが。」  
「アンヒラはお前に以て居る。  
あの子供達は、將來成人して  
それ／＼の道に進む時、親類の  
ことを語り合ひないでセリ  
か。」  
「そんなことはないさ、B國は  
今新人種の創成の黎明期にあるのだ（少し考ね深く）若しより  
将来に於てそんなことが出来  
したとしたら、混血兒（ふじきじ）を生ん  
だ我々の罪でなく、子供達の  
そんな印象を與ねさしむる社會  
に罪があるのだ。親といふとく  
ものは、その子の成育のためにはあらゆる犠牲を惜まない  
お前はそう思はぬか。そういふ  
子はまた國家最良の國民たら  
んと願ふものだ。」  
「それは双方の親が同國民であ  
り、同人種である場合のみ  
眞理だと思います。」  
「ではお前は此の、わしどと飽く  
まで東洋人と認めるか、（苦情の  
表狀をうして）お前が（言  
ふと願ふものだ。」  
「……（沈黙）」  
「父は日本人であり、母がB國  
民であつたにせよ、此處に生れ  
れた子供達は、B國土で育つて  
居る事實は、否定出来まい  
(獨言のやうに)」  
「……(沈黙)」  
「夫達は國家とか、社會とかを  
超越して幸福なのです。」  
「その平利は、お前が過去十二  
年間あらゆる周囲と強く戦つ  
て、わしどと従順であつたから  
である。わしは今お前に感謝  
する言葉を知らない位だ……」  
だが、それはかりで（云々兼ね  
る）  
「それで居て貴方は、近頃どう  
てそんなに沈んでばかりゐる  
つしやうのですか。子供達が  
日本語を教はることを嫌つて  
るからではありますか。御  
自分でさへ時々面倒臭い、日本  
本語など云つてゐる。それ  
を子供達に強制するんですす  
る」

「アントニア、やゝ力なく呼かける如く」子供達の教育についてはそれ以上追求してゐる。近頃わしも自分で自分の善惡と處置に苦るしんでゐる。日本語を教じて「一体うする、だからと云つて放せば、何日までも日本を知り終る。子として父の祖国を理解しない事は一場の悲運に違ひない。それはからでない。第一父と子の間に竟争の疏通が出来ないではないか。(イギリスの自分を苦笑してゐる。B國に生れB國の市民である。べき自分の子供達に、わざとどうしてあの難解な日本語のお習字を教むやうとするのだ。事實は正に失敗に終つた。もう日本語を教へ込む事は限り止らうか併し、(獨言を云つて下憤する)ねえ、アントニア(思ひ出しやうやうお前が人種的偏見を離れて、身に盡してくれて居ることは實にうれしい。そうして前年の云ふ通り家は平和で幸運満されてゐる……だが、(暫時間)近年俺は自分たちは常に病んで居る。しかる中年になつた。勿論それは何であるかが自分でも解からぬのだ。或は東洋人が一度でも体験せねばならないのである。それが今わしの心がれない。それが今わしの心成長しつゝあるのではない。あるものだとは思ひませぬ。」  
「あら、そんな事が貴方に限つてあるものだとは思ひません。」  
「だが、二三年來この心の痛い處に思へる。」  
「年暮です。そんな陰氣な年暮と思つてね」はたしてこの

「そんな事を子供が云つた  
……(やや沈黙)……わ  
頃東方の悪魔にとも馮  
居る。」

# 作 創

---

# 娘の場物

(一)  
バーツサラア  
子みと山香

「なんだ。其處に居たの返事すればいいものと今までにならぬからトマフンコが出来たよ。バーナー屋で呼んでる」

（高社へ郵便御問合を乞ふ）  
樹數は壹百万株以上にして、本  
二十五万アーラバ也。  
地は採集の末、塵埃搔撗相談後  
耕地は當時落果集をやつて居る  
擴の状態にある故、千株の鹿鳴  
地常備の薬剤店、兼貨店あり、  
六拾ミルレースを支拂ふ  
屋、清飲料水、豚飼養場、  
シヤンテンブル  
・フエイヲ珈琲會社  
總監督 ギレルム・  
ホテル マリ  
料理  
王利亞町ルア、サンルイ  
館主 大場  
内斬新バールとおいしい  
化粧フラジル式レスター  
シフエイタリア  
おりえん  
老 根 薬  
藥劑士 海老根專  
リヤでどんな  
てもある大勉強の  
リス市オラーボビラック街  
電話

(迎徵稿投)

死せる名優  
ルイス・ウォルム

アンゼルスから世界映書ファンに放送された悲報である。最近米國映書通信によれば、親丈廣く、歸國後リオネル・モアーリ氏の目に入り「君の機を容貌を持つて居れば映書人と

つてゐるの。早ようお入り下さい。暑いのね。」

江藤バール  
江藤子之八

一九三一年度

一九三一年度  
珈琲採收の集穫契約

刑 皮

助之芳園

<p><b>CONFEITARIA Oriental</b> Bar e Restaurante Rua Olavo Bilac No. 26 <u>LINS</u> Tel 11</p> <p>目下マリリヤでどんな 薬もある大勉強の</p> <p><b>海老根藥局</b></p> <p>薬剤士 海老根喜重</p>	<p><b>HOTEL Marilia</b> Estação Marilia</p> <p>新ホテル マリ、ヤ 和洋御料理</p> <p>麻里利亞町ルア、サンルイス 館主 大場鶴松</p> <p>清新的なパールとおいしい 純粹ブラジル式レストランテ コンフェイタリア おりえたる</p> <p>別府しげ子 アンス市オーラボビラック街二十六番 電話 拾壹番</p>	<p>當耕地所有樹數は壹百万株以上にして、本年度收 穫想は約二十五万アロバ也</p> <p>當耕地は良屋、清飲料水、豚飼養場、フバ水車、機 械あり、耕地常備の薬剤店、雜貨店あり、購買方は 家族の自由</p> <p>(尚詳細は當社へ郵便御問合を乞ふ)</p> <p>北西線カフェランジャ駅 リオ・フェイヲ珈琲會社 シヤンテンブレ耕地 總監督 ギレルメ・エグラー</p> <p>當耕地は當時落葉集をやつて居る爲め、牛 種擴の状態にある故、千株の鹿鳴擴に對 立つ可し</p> <p>當耕地は當時落葉集をやつて居る爲め、牛 種擴の爲め各家庭收入の三分の一を支拂に對 立つ可し</p> <p>當耕地は當時落葉集をやつて居る爲め、牛 種擴の爲め各家庭收入の三分の一を支拂に對 立つ可し</p>
--	--	--

日 本 近 信

# 無產婦人の大運動

女園士と警官隊が競り合ふ物語

安

達

内

相

に

決

議

文

会

に

提

出

せん

と

する

婦人

公

民

権

案

を

もつ

て

不

可

能

性

の

も

に

して

は

そ

の

を

し

て

は

そ

の

を

も

と

し

て

は

そ

の

を

も

と

し

て

は

そ

の

を

も

と

し

て

は

そ

の

を

も

と

し

て

は

そ

の

を

も

と

し

て

は

そ

の

を

も

と

し

て

は

そ

の

を

も

と

し

て

は

そ

の

を

も

と

し

て

は

そ

の

を

も

と

し

て

は

そ

の

を

も

と

し

て

は

そ

の

を

も

と

し

て

は

そ

の

を

も

と

し

て

は

そ

の

を

も

と

し

て

は

そ

の

を

も

と

し

て

は

そ

の

を

も

と

し

て

は

そ

の

を

も

と

し

て

は

そ

の

を

も

と

し

て

は

そ

の

を

も

と

し

て

は

そ

の

を

も

と

し

て

は

そ

の

を

も

と

し

て

は

そ

の

を

も

と

し

て

は

そ

の

を

も

と

し

て

は

そ

の

を

も

と

し

て

は

そ

の

を

も

と

し

て

は

そ

の

を

も

と

し

て

は

そ



# 坂東侠客陣

「御評判娘、手をどり。針戸、若菜銀蝶一座」といふ文字を見つけ  
て行つた。  
「若菜銀蝶といふ太夫は、この小屋か。  
「へい、左様でござります。木戸番の源七が、胡散くさい顔で答へる。  
「ちよつと樂屋へ會ひたいと申しててくれ。いつぞや家の方へも訪ねた事のある乾といふ者だ。  
「や此の横からお廻りなすつてお與んなさい」おい米太夫人所へ御案内しろよ。  
四分板圓いに座。それに薄織い蒲團を宛がはれたまゝ、先之助は暫く取り散らかした。鏡臺へ不意に呼ぶ声がある。ヒヨイと振り顧みた銀蝶は、のれん口から出している首を見て吃驚した。  
「また兄さん。お前何日江戸へ歸つたのさ。」  
「素ツ頓狂な聲をするない」と半次は頭を窓から先之助が歸つた事を禮め、銀蝶の前へ笑ひながら胡坐をくんだ。  
「お化みなだね此の人は……」  
「大きにお世話だ」それよりお前は一體どういふ因縁で、あの先之助がなんて奴を知つてゐるんだ。俺が危なく木戸先でカチ合ひ損ねてギツクリしたやあねむか。」  
「どうせ兄さんの事だから、碌でもない事に違ひないと思つてちくちくひりてございました

坂東快客陣 (26)  
冷刃に浮く笑み  
東兩國の堺離場の畫席 オデコ芝居などで客呼びの太鼓を入れると、此方では阿蘭陀眼鏡の人の寄せ、鳥娘、蛇つかひ、山雀の曲藝などが負けず劣らず木戸を叩いて客足を呼ぶ。  
雀の曲藝などが特に雪見板の下で、矢場女と何か立話をしてゐた針屋の半次は、俄にサフと顔色を聯へて、女の後ろから険しい目を人浪へ送つてゐた。  
人浪もお見合ひを済ませて押されて行くのだ。その姿を傍目でみれば、此勝の女義太夫を張りに通ふ、勘番か急げ者の御家人といふ珍しくもない侍のうち彼の瞳が、勘亭流で書いたり看板、

るへく候——まづそんな所だ。  
文句はお前が男にやる筆法で  
眞とらしく書いてくんね。」  
舞臺からは、又番組がはりの  
囃子が、脇やかに鳴り響いて  
きた。

千駄木の御徒士目附、黒川大學  
と佐仲の兄弟は、新規に池へた  
二人の中間に一分づつの手當を  
やつて、乾先之助の宿所を血眼  
で探させたが、關部鉢母の星敷  
から出奔して以來の彼の姿は容  
易に見つからない。

「そろ、魚氣味になつてゐる大  
學佐仲の心も知らず、助太刀と  
いふ仕事で請負つた平手造酒の  
方は、今日も朝からやつてきて  
酒が場塗ひだ、肴が野菜だと御  
託をならへ、乍ら懶々と飲んでゐ  
る。陽もまさに暮れなんとする  
頃、一斗の酒壺がすでに輕い。  
一旦那様、唯今戻りまし」と  
庭さきへ中間の姿、見馳れぬ男  
を後に連れてゐる。

「どうちや今日は、先之助の宿  
所は知れたか。」

「相變らずむだ骨でございまし  
た、」が手裏があるといふ町人  
を連れて参りました。旦那様  
へ直々でなければ話はできな

「乾氏、お使が見られて居まり  
ぞ。」

「應——誰だ。」と先之助の聲  
細かい竹の葉の彼方ですると  
柴折戸の前に立つてゐた男が  
戸を押して縁先へ寄つて行つた  
「旦那様、先日はどうも失禮  
致しました。」

「其方は?」と閑亭の小室  
敷で、刀の柄絲の解れを繕つて  
ゐた先之助は、思ひ當る所が  
いやうに男をみつめた。

「東兩國の木戸番の源七でござ  
います。太夫さんからお頼  
いで、手紙と届けに参りました  
「お、」と頷づいて、先之助は  
吉報を受けたやうな喜色で手紙

益と向ひ合ひに頬杖をついて  
平手造酒は、例の苦びい笑  
とうかばながら、半次と黒  
兄弟の懸引を眺めてゐた。

<b>Hotel e Bar</b> Alto-Cafezal <b>ホテル バー</b>	<b>本日</b>	<b>MATUFUJI</b> Caixa, 91 PROMISSÃO	<b>Casa Anse</b> Armazem de Seccos e Molhados Machinas de Beneficiar Café e Arroz Moinho de Fuba Araçatuba	<b>所次取符切定指社會船商阪大</b> <b>聖市旅館組業合</b>
<b>新聞廣告無言の商人なり</b>	<b>歯科醫 寶臣衛</b> 北西線アラナフーパ駅【大原商店ト郵便局ノ中間】 <b>T. Takara</b> CIRURGIAO DENTISTA ARACATUBA	<b>Hotel Japao</b> Mario. H. Arita Rua Antonio Prado, 52 Phone 81 Est. Araraquara	<b>農產物仲買</b> 内外雜貨並に菓子類及和洋酒類 ブリキ細工品取扱 風呂釜、バケツ、メザーダ(珈琲用) ▲領事館諸國居用紙あります 北西線アラナフーパ駅 松 藤 初 市 館主 相田 寛雄 アラ・クアラ駅前 電話八一 郵局二五 梅田金次郎 パウリスタ線マリオアスランダイス街 郵局二七	<b>東京館</b> 仲村渠三郎 大和坊迫健造 上地 上地彌藏 ときわ 石原桂造 秋田 兼三郎 電話二一一一九二一 コンセセレインフルタード街二 ボニタ街一 郵函一二二五 コニタ街四 コンセデビニヤール街一 コンセセレイロフルタード街一 中山忠太郎 電話二一一一七八二 コンセデビニヤール街一 コンセセレイロフルタード街一 小川源右衛門 電話二一一四四七 電話二一一五六三八 郵函一二〇八 電話一五 アラ・クアラ倉庫 事務所 アグア・ランバ殖民地内